



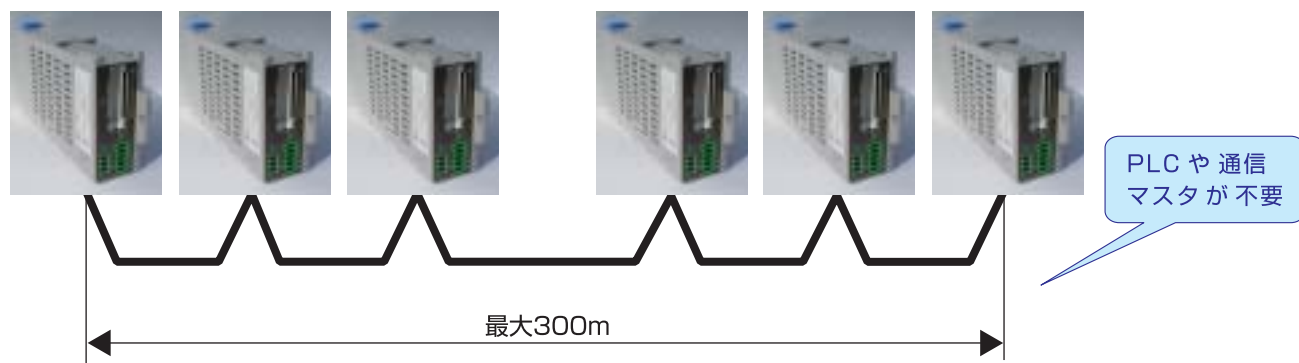
# JFEエンジニアリングは、IT技術を基盤とした電気・制御設備システムを提供します。

JFEエンジニアリングは、長年にわたるプラント設計・建設の経験から電気工事・計装工事費用を大幅に削減できる省配線システムを開発しました。従来のハードワイヤ・システムと同等の信頼性を確保しながら省配線が実現できます。

## PLC不要、最大デジタル512点、アナログ32点が300m伝送可能

ユニットは1対1で対応し、デジタル32点、アナログ1点(オプション)\*1の伝送が可能です。各ユニットは通信・電源ケーブル\*2でマルチドロップ接続され、最大64ユニット(32組)、最大総延長300mまで接続できます。

\*1: IOC-R1~デジタル16点/アナログ1点、IOC-R2~デジタル32点となります。  
\*2: ノイズの影響が大きいところでは、通信ケーブルと電源ケーブルを別に布設して下さい。



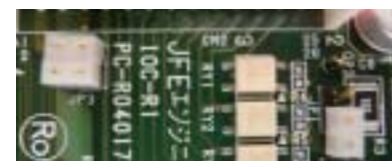
## ソフトレスで、取扱いが簡単

アドレス、信号のホールド/クリア等、全てのユニット設定はDipSWで行えます。



DipSWでアドレス設定

有電圧出力(DC24V)/無電圧出力の切替え、終端抵抗の設定もJPの入替えで行えます。



JPで信号設定切替え

通信状態はLEDモニターで確認できるとともに、異常信号を外部出力(無電圧接点)可能です。



LEDによる状態確認

## 取り付け場所を選ばない、コンパクトサイズ



ボックス収納が可能

厚さ30mmの超コンパクトサイズ、和泉電気製標準ボックス\*3にも収納可能です。\*3: AGS型ボックス

DINレール取り付け器具を2方向に設置。縦取り付け、横取り付けが簡単に出来ます。



DINレール縦取り付け



DINレール横取り付け

## ノイズに強く、高信頼性、船用・防爆対応製品も提供可能

各ユニットは分散独立に設置されているため、一つのユニットに不具合が生じて、他のユニットには影響を及ぼすことは無く、正常なユニット間ではそのまま伝送が継続されます。伝送速度は3Mbpsと高く、インバータノイズ等の数十kHzノイズに対しては従来のリモートI/Oに比べ耐ノイズ性が向上しています。また、伝送信号にはCRC-16方式\*4のパリティ・チェックを施しており、ノイズやサージによる信号

の誤送信を大幅に低減しています。

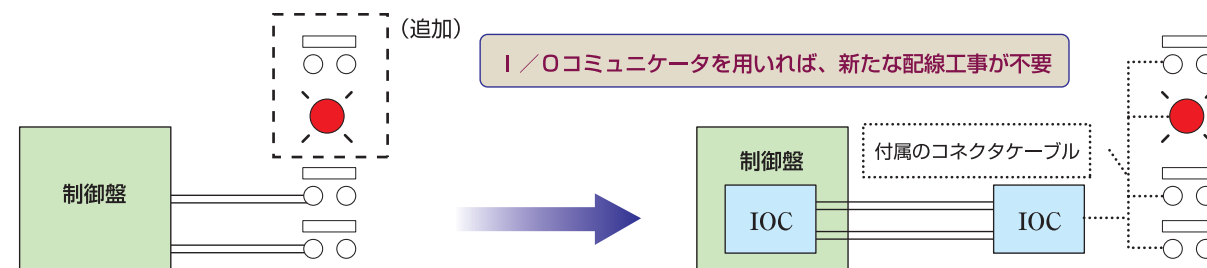
また、NK(日本海事協会)型式認証(Approval No.07A025)\*5、耐圧防爆検定(型式検定合格番号第TC17818号)に合格しており、船用向け、防爆エリアでの使用が可能です。

\*4: CRC-16とはCyclic Redundancy Check 16の略で、ある生成多項式を使ってチェックコードを生成します。これにより、ビット群の偶数個の誤りも検出できるようになり、垂直パリティや水平パリティに比べて信頼性が大幅に向上します。

\*5: 船用の場合、別途ラインフィルタ、フェライトコア等が必要となります。

## 用途例：現場での改造工事に

「現場にリミットや表示灯を追加したいが予備線が無い!」とお困りになったことはありませんか。I/Oコミュニケーター<sup>®</sup>を用いれば、新たに配線を施すことなく、既設ケーブルを利用して簡単に信号が追加できます。



## 用途例：動力制御盤の省配線に

「動力制御盤と操作盤間の配線を減らしたい!」とお考えになったことはありませんか。

I/Oコミュニケーター<sup>®</sup>を動力制御盤に追加するだけでインテリジェント化することができ、省配線システムが実現できます。また、無線を用いた配線レス・システムもご提供致します。\*6

\*6: 無線端末システムは別途カタログを参照ください。

